2025年度

入学試験問題

(40分)

国語

(アカデミーコース)

(国際コース)

学校法人 成美学園

福知山成美高等学校

受験上の注意

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験中に問題冊子および解答用紙の汚れなどに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 解答は、ていねいな字で書きなさい。

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数については句読点、「」なども一字に数えるものとする)

(出典 長谷川宏 『高校生のための哲学入門』)

問1 〰線部㉞㉟のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで書きなさい。

問2 空欄〔W〕、〔X〕、〔Y〕、〔Z〕に入る語として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 一樣 イ 偶然 ウ 充実 エ 必然 オ 多様 カ 難解 キ 裕福 ク 複雑

問3 空欄(㉠)、(㉡)、(㉢)に入る語として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア さて イ そして ウ 一方 エ いいかえれば
オ まず カ だが キ 次に ク たとえば

問4 線部①「人並み」、④「もつぱら」の意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①人並み

- ア お互いが支え合っているさま
- イ 人々がたくさん並んでいること
- ウ 世間一般と同程度であること
- エ 他から飛び抜けて優れていること

④もつぱら

ア 様々なことに興味・関心がある

イ 日常の行為の目標や方針となる

ウ 複数の事に心を囚われ、そこから離れない

エ ひとつの事に集中する

問5 — 線部② 「そういう考え」とは、どのような考えか。解答欄の「く」という考え」につながるように、二十五字以内で抜き出し

なさい。

問6 — 線部③ 「思春期の意識」とは、どのような意識か。本文中の言葉を用い、五十字以内で説明しなさい。

問7 — 線部⑤ 「動物的な体と心のありさま」とは、どのようなありさまか。解答欄の「くさま」につながるように、二十五字以内で抜き出しなさい。

問8 — 線部⑥ 「不幸な事態」とは、どのような事態か。本文中の言葉を用い、四十五字以内で答えなさい。

【二】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数については句読点、「」なども一字に数えるものとする)

百五十二 いはで思ふ

帝、狩いとかしこく好みたまひけり。陸奥^{みち}の国、磐手の郡より奉^{たま}れる御鷹、世になくかしこかりければ、になうおぼして御手鷹にしたまひけり。名をば磐手となむつけたまへりける。それを、かの道^③に心ありて、あづかり仕うまつりける大納言にあづけたまへりける。夜昼、これをあづかりて、とりかひたまふほどに、いかがしたまひけむ、そらしたまひてけり。心ぎもをまどはしてもとむるに、さら^④にえ見いでず。山々に人をやりつつもとめさすれど、さらになし。みづからも深き山に入りて、まどひありきたまへどかひもなし。このことを奏せで、しばしもあるべけれど、二三日にあげず御覽せぬ日なし。いかがせむとて、内^⑥にまゐりて、御鷹のうせたるよし奏したまふ時に、帝、ものものたまはず。聞しめしつけぬにやあらむとて、また奏したまふに、おもてをのみまもらせたまうて、ものものたまはず。たいだいしとおぼしたるなりけりと、われにもあらぬ心地して、かしこまりていますかりて、「この御鷹の、もとむるに、侍らぬことを、いかさまにかしはべらむ。なかおほせごもたまはぬ」と奏したまふ時に、(甲)、^⑧いはで思ふぞいふにまされる

とのたまひけり。かくのみのたまはせて、こと事ものたまはざりけり。御心にいといふかひなく、惜しくおぼさるるになむありける。これをなむ、世の中の人、もとをばとかくつけける。^⑤もとはかくのみなむありける。

(出典 『大和物語』)

問1 〰線部「まどひありきたまへど」を現代仮名遣いに直して答えなさい。

問2 〰線部①「かしこく」、⑦「おもて」の意味として最も適當なものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

① かしこく

ア 優雅に イ ひどく ウ 頭を使って エ うらやましく オ 長い間

⑦ おもて

ア 地面 イ 景色 ウ 服 エ 様子 オ 顔

問3 〰線部②「世になくかしこかりければ」を単語に区切るといくつになるか。算用数字で答えなさい。

例) 「春はあけぼの」 ↓ 春／は／あけぼの 3

問4 〰線部③「かの道」とはどういうことか。最も適當なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 鷹の飼育や訓練を熟知しているということ

イ 帝からの信頼を十分に得ているということ

ウ 動物の扱いを仕事としているということ

エ 治めている領地を熟知しているということ

オ 世の中の物事に精通しているということ

問5 — 線部④「さらにえ見いでず」の訳として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア これ以上探しても見つかる気配がしない

イ あまり見つけようとする気がおきない

ウ まったく見つけ出すことができない

エ いっそう見えなくなってしまうた

オ なんとか見つけられる気がした

問6 — 線部⑤「みづから」とは誰のことか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 帝 イ 磐手 ウ 大納言 エ 世の中の人 オ 筆者

問7 — 線部⑥「まゐり」の敬語の種類として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 尊敬語 イ 謙讓語 ウ 丁寧語

問8 空欄（甲）に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 帝 イ 磐手 ウ 大納言 エ 世の中の人 オ 鷹

問9 — 線部⑧「いはで思ふぞいふにまされる」について、次のA・Bの問いに答えなさい。

A 「いはで」は掛詞である。例にならって掛詞と分かるように解答欄に二つ答えなさい。（順不同）

例（ ）なく「泣く」 ↓ 「泣く」と「無く」

B 「いはで思ふぞいふにまされる」とはどういうことか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 口に出してしまうと怒りがこみあげるから、口に出さないようにしているということ

イ 何かを言うよりも、言わないでおくほうが相手のためになっているということ

ウ 思っていることを口にするより、頭の中で考え続ける方が利口だということ

エ 口に出して言わず、心で思っている方が口に出して言うよりもつらいということ

オ 思っていることを言ってしまうと、相手を傷つけてしまう可能性があるということ

問10

——線部⑨「もとはかくのみなむありける」とあるが、「もと」とは何を指しているか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 行動 イ 人物 ウ 地名 エ 噂話 オ 和歌

問11

本文の内容として**誤っているもの**を次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 帝は、陸奥の国の磐手の郡から献上された鷹を大切に思っていた

イ 大納言の部下は帝から鷹を預かっていたが、誤って逃がしてしまった

ウ 大納言は鷹がいなくなったことを後日帝に報告した

エ 鷹がいなくなったことを知った帝は、残念で惜しいと思っていた

オ 世間の人が、「いはで思ふぞ……」の上の句をあれやこれやと考えてつけた